

平成 29 年 7 月 27 日 (木)

新人研修 患者急変時の対応「一次救命処置」

徳島文理大学研修室において新人看護師 11 名、インストラクター 2 名、教育委員 2 名で一次救命処置について研修をおこないました。院外での研修は今年で 4 回目であり、BLS、シナリオ患者への対応、気管内挿管の準備・介助と確認、心停止の波形について、急変時のフィジカルアセスメント、振り返りと有意義な研修になりました。高機能シミュレーターを用いての研修は、急変時の対応がより実践現場に近い状態でおこなえ、新人看護師や指導者からも高評価を得ています。

研修風景

目標 BLS を施行することができる





なんかおかしい・・・
急変？のスイッチ オン！！





有意義な研修でした！

<新人看護師の報告書より>

- ✚ BLS研修では、モデル人形を用いて一連の流れを繰り返し実践することで、技術として習得することができました。また、気管挿管の介助では実際に医師役も行うことで、介助する側とされる側の両方を経験しました。そのおかげで、医師がよりスムーズに気管挿管を行えるようにするためには、看護師がどのように介助すればよいのか考えるのにイメージしやすかったです。
- ✚ 急変時の場面に遭遇したときには、今回の学びを生かして、自分にできることを見つけ、焦らず落ち着いた迅速な対応ができるようにしたいです。日々の反復練習が必要だと思うので、院内のBLS研修にも積極的に参加していきたいです。
- ✚ BLS研修では、何を行うのか、何に注意しなければならないのかを学ぶことができました。胸骨圧迫について正しい位置、深さ、リズム、戻りを確認し絶え間なく行うことの必要性を学ぶことができた。
- ✚ 急変時のフィジカルアセスメントでは、シナリオを用いて急変時のアセスメントを学ぶことができた。実際に体験してみると、「急変だ！」とわかった瞬間に、頭が真っ白になってしまい慌ててしまった。冷静な判断をおこなうためには、もっと自分のアセスメント能力を向上させなければならないと感じた。今回の研修で学んだことで、急変時に直面した時には、自分で何をしなければいけないのかを判断し行動したい。